

## 2022年度 学校評価シート(学校関係者評価)

武蔵野相愛幼稚園

外部評価委員 2名

内部評価委員 2名

### 1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

適切である。

特に、Ⅰ.教育目標、Ⅲ.2022年度の評価項目の達成 及び 取り組み状況について、教育課程：7項目、学校運営：9項目、社会貢献：3項目の評価設定は具体的で適切であった。

### 2. 評価結果の内容は適切であったか

新型コロナウイルス感染症防止を考慮しつつ、収穫感謝祭、もちつきができたことはよかった。

今後も、保護者、関係者が参加できる行事を感染症防止に考慮して実施できるとよい。

園庭と園舎内の点検について、今後も定期的に行うことで、安心して保育が行えるとよい。

子どもたちと同じように保護者のお一人お一人を尊重していくことを、今後もぜひ大事にしてほしい。

保護者への対応、施設・設備、地域との連携の所ではもっと評価していいと思う。保護者としても先生からよく子どもの様子を聞くことができ、満足できるものだった。

施設・設備面でも子どもの事をよく考え、気をつけてくれているのを感じた。

地域との連携面では、園内だけでなく、様々な環境に触れさせてもらっている。

コロナ感染症に対する社会的対応が変化していく中、できることを臨機応変に模索し続けたことが、子どもたちの成長につながっていると感じることができる。

Ⅱ.重点目標はより具体的に、鮮明に記されることを次回に期待する。このことにより、Ⅲの自己評価内容が一層充実したものになると思える。

園庭での野菜の栽培と収穫、そして、みんなで食べるといった経験や小動物とのふれあいは、子どもたちの心と体の成長に欠くことのできない貴重なものであると感じている。

### 3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

概ね適切である。

保育の在り方や保護者への対応、園児募集への取り組みなど、具体的な取り組みを設定されていると思う。反面、＜保育者の研修・資質の向上＞に関する課題設定にやや弱さを感じる。日々の業務の多忙さを察する。

保護者や地域に向けた視点を、今後も大切にしてほしい。

#### 4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

日々の保育の他に、コロナ感染症対策やそれに付随する変化への対応、園児減少に対する対策など、取り組むべき課題が多岐にわたる現状がある。そのうえで、教職員の連携と知恵と工夫により、解決を図られていることがよく伝わってくる。教育目標にみられる武蔵野相愛幼稚園の理念が、今後も続くことを願う。

子どもたちのために色々と考えているのがよく分かる。適切に行われていると思うが、先生方の負担が大きくならないようにしてもらいたい。

パートタイムの保育者、若い保育者と保育の質を共有していくことを期待している。

Ⅲ-教育課程3 保育の計画と実践、及びⅢ-教育課程5,保育の在り方・幼児への対応、の課題に”園内”研修に関する内容が記されると尚良い。

またⅢ-学校運営6開かれた幼稚園、及び7保護者会・母の会・父の会、Ⅲ-社会貢献1地域との連携の項目に関して、これらの項目の評価と改善の在り方が本園の抱える園児募集に関わる大きな課題の一つでもある。保育参加やネット配信もさることながら、地域の子育てセンター的機能

（地域の子育て世帯の孤立を防ぐ）をより身近に、フランクに寄り添う園を具体的にどのように作っていくのか、課題を具体的に示せるとより良い。特に本項目の評価と改善に向けてが、「子どもの喜び」が視点となっているが、保護者・父・母の成長（子育ての喜び）にどのように寄与したかの視点（保護者の声）となる記述が記され、それに対する評価が加わると良いと思える。